

寺院に泊まる 僧侶と巡る リアル修行体験の旅

旅行期間:2016年10月8日(土)~10月9日(日)1泊2日

旅行代金:おひとり様 25,000円(税込)

【宿泊先】比叡山延暦寺 研修道場「居士林」
〒520-0116 滋賀県大津市坂本本町4220 ☎077-578-0314
*男女別の大部屋利用 *トイレ・浴室は共同利用

【添乗員】京都駅出発より解散まで添乗員1名が同行

【募集人数】先着40名様(最小催行人数:20名様)

【参加資格】18歳以上で健康な方
回峰行体験では山内を約7時間かけて巡拝します
途中まで伴走車が随行しますが体力に自信のない方
はご遠慮ください



●ツアーのおすすめポイント

本企画ならではの！日本仏教の総本山「比叡山延暦寺」での本格的修行体験！

日本仏教の総本山とも云われる天台宗総本山比叡山延暦寺にて、天台宗の代表的な修行で最も過酷な修行のひとつとされる“*千日回峰行(せんにかいほうぎょう)”の一日体験をしていただきます。トレッキングや散歩体験とは異なり、まだ夜も明けぬ星空の下宿舎を出発し、険しい道のりを夜明けまで約7時間歩き通します。今回は特別に千日回峰行を終えられた(戦後13人のみが満行)大行満大阿闍梨(だいぎょうまんだいあじやり)の光永圓道先生が皆さまの回峰行体験を**先導していただきます。

非日常を存分に体感できる充実の二日間！

重要文化財での坐禅体験や伝統的な食事作法の体験に始まり、僧侶によるお話も交え、修行道場での宿泊や回峰行の体験など、澄み切った山の空気を感じつつ、日常を完全に離れた大人のための体験学習です。(原則滞在期間中は携帯電話やスマートフォン等の通信機器のご使用はご遠慮いただきます)

精進料理で身体の中からキレイになる！

開催期間中にご提供する食事(3食付)は全て肉や魚などを使用しない内容となります。何でも直ぐに手に入る現代的な食生活に慣れきった身体を一度リセットしてみませんか。



*千日回峰行とは、平安時代から伝わる比叡山の峰々をぬうように巡り礼拝する修行のことで、無動寺を起点として1日で山を1周し、これを1,000周(計約4万キロ=地球1周分)し終えることで満願とするもので、7年という歳月をかけて行なわれる。断食断水、不眠不臥(が)で9日間、明王堂にこもり、不動真言(仏の徳を表す言葉)を10万回唱える「堂入り」や、京都市内に下り1日約84キロを歩く「京都大廻り」などの難行がある。

**先導役は諸事情により変更となる場合があります。

| 日程 | 月/日 (曜) | 行程 | 食事条件 | | |
|----|-------------|--|--------|--------|------------------|
| | | | 朝 | 昼 | 夕 |
| 1 | 10/8 (土) | <p align="center"><大型貸切バス></p> (12:00)JR京都市 八条口に集合 == 車中にて昼食(弁当) == 比叡山延暦寺 西塔駐車場に到着 (13:30)..... 西塔エリア諸堂参拝・記念撮影後『居士林』へ徒歩で移動 【修行体験1日目】 14:30 開会式(道場の心得・注意事項) 15:30 止観(しかん:坐禅) 17:00 非食(ひじき:精進料理の夕食) 18:00 法話:居士林所長・宮本祖豊先生 ~ 法話後質疑応答 19:00 開浴(入浴) 21:00 放心(消灯) | - | 弁 当 | 精 進 料 理 |
| 2 | 10/9 (日) | 【修行体験2日目】 01:00 覚心(起床)、回峰行について(身支度・注意事項など) 02:00 回峰行体験(先達:大行満大阿闍梨 光永圓道先生) 05:00 小食(途中でパンと飲み物などの軽食を摂り休憩し、再度出発します) 08:00 開浴(到着した方から順次入浴可能です) 09:00 作務・下山準備(使用した各所の清掃および各自荷物整理・着替え) 10:00 閉会式 10:30 解散 * 解散後はバスやケーブル等を利用して各自お帰り下さい。 * 解散後の山内諸堂の参拝も可能です。 * 集合・解散前後の交通手配や周辺地区での宿泊手配が必要な場合は別途承ります。 * 上記行程は天候等諸事情により予告なく変更となる場合があります。 | 軽 食 | - | - |

ご旅行条件(要約)

●**募集型企画旅行契約** (1)この旅行は、東日観光(以下「当社」といいます。)が企画・実施する旅行です。この旅行に参加されるお客様は、当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」といいます。)を締結することになります。(2)ご旅行条件は下記によるほか、別途お渡しするご旅行条件書、出発前にお渡しする最終日程表、及び当社の旅行業約款(募集型企画旅行契約)によります。

●**旅行のお申し込み** 当社所定の参加申込書に所定の事項を記入し、下記の申込金を添えてお申し込み下さい。旅行契約は締結を承諾し、申込金を受領したときに成立します。 <旅行代金が3万円未満:6,000円>

●**旅行代金に含まれるもの(一部例示)** 旅行日程として表示されたもの。各コースごとに明示した運送機関の運賃・料金、団体行動中の心付け。宿泊費、食事代、消費税等の諸税、特に明示したその他の費用。

●**前項の他は旅行代金に含まれません(一部例示)** 各コースに含まれない交通費等の諸費用、個人的性質の諸費用、オプションプラン(別途料金)の代金など。

●**添乗員** 添乗員同行と記載されたコースには添乗員が同行し、原則として契約書面に定められた行程を円滑に実施するために必要な業務を行います。

●**取消料** お申込の後、お客様のご都合にて旅行を取消される場合には、お一人様につき、所定の取消料をいただきます(「取消料について」参照)。

●**旅行内容・旅行代金の変更** 天災地変、運送・宿泊機関のサービスの提供の中止など当社の関与し得ない事由で、また運送機関の運賃・料金の大幅な改定により、旅行内容・旅行代金を変更する場合があります。なお、お客様のお申し出により旅行内容の変更がある場合は別途所要経費をいただきます。

●**個人情報の取扱** 当社は旅行お申し込みの際にご記入いただいたお客様の個人情報(氏名、住所、電話番号、メールアドレスなど)についてお客様との間の連絡、お申し込み頂いたご旅行における運送・宿泊機関等の提供するサービス手配のための手続きに必要な範囲で利用させていただきます。

●**最少催行人員に満たない時は、旅行の催行を中止する事があります。** ご出発の14日前までにご連絡致します。この場合は、当社がご預かりしている旅行代金は全額お返し致します。

●**当社の責任** (1)当社は当社又は手配代行の故意または過失によりお客様に損害を与えたときは、損害を賠償します。(2)当社は次に例示する事由では責任を負うものではありません。・天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関の事故・火災、遅延・不通による旅行内容の変更・短縮又は中止・盗難、自由行動中の事故、疾病などお客様の故意又は過失によって生じた損害・官公署の命令、伝染病、食中毒など

●**特別補償** 当社は、当社旅行業約款(募集型企画旅行契約)の特別補償により、お客様が参加中に急激かつ偶然な外来の事故により被られた一定の損害についてあらかじめ定める額の補償金及び見舞金を支払いますが、損害、疾病治療費については補償いたしません。

●このご旅行条件は2016年 6月20日を基準としております。

「取消料について」

| 取消日 | 取消料 |
|-------------------------|-----------|
| 1. 出発の前日から起算し21日前までの解除 | - |
| 2. 旅行開始日の20日前から8日前までの解除 | 旅行代金の 20% |
| 3. 旅行開始日の7日前から2日前までの解除 | 旅行代金の 30% |
| 4. 旅行開始日の前日の解除 | 旅行代金の 40% |
| 5. 旅行開始日の当日の解除 | 旅行代金の 50% |
| 6. 旅行開始後の解除又は無連絡不参加の場合 | 旅行代金の100% |

西塔(さいとう)エリアの中心的伽藍
国重要文化財「釈迦堂」



★ご希望の方には、詳しいご案内をお送りします。内容をご確認のうえ、お申し込みください。

お問い合わせは **東日観光株式会社**

観光庁長官登録旅行業第270号・日本旅行業協会(JATA)正会員
総合旅行業務取扱管理者:前田しのぶ

〒104-0045東京都中央区築地4-7-5 築地KYビル

☎ 03-5148-1731 FAX 03-5148-1735

担当:前田文字 Eメール:maeda_fumiko@tonichi.co.jp

ツアー企画



公益財団法人 **仏教伝道協会**
BUKKYO DENDO KYOKAI

〒108-0014 東京都港区芝4-3-14

☎ 03-3455-5851(代)

FAX 03-3798-2758

http://www.bdk.or.jp

*** お問い合わせ・お申し込みは東日観光まで ***

講師のご紹介（行程順）



- 修行体験 1 日目：10 月 8 日（土）午後 6 時～
法話 講師：宮本祖豊（みやもと・そほう）先生
天台宗総本山 比叡山延暦寺 研修道場「居士林」所長

昭和 35 年、北海道生まれ。昭和 59 年、比叡山にて出家得度した後、昭和 63 年に叡山学院・仏教大学卒業を経て、平成元年から比叡山十二年籠山行（注 1）に入行。その後、平成 6 年に比叡山円龍院住職拜命。好相行（こうそうぎょう：注 2）を満行後、平成 9 年に宗祖伝教大師の御廟所、浄土院で戦後 6 人目の侍真僧（じしんそう：注 3）となる。

平成 13 年、十二年籠山行満行、引き続き籠山を行い、平成 21 年、20 年に亘る籠山を終了し、下山。平成 21 年、延暦寺大黒堂執事を経て、現在は比叡山「居士林」（在家の修行道場）の所長を務め一般の方々の指導にあたっている。

著書：『覚悟の力』（致知出版社）

（注 1）十二年籠山行とは、文字通り 12 年間、たった一人で最澄上人の遺体が安置されている浄土院に籠もって、あたかもそこに伝教大師が居るかのように毎日、食事をとお供えして掃除、読経、礼拝などのお勤めをするもの。世俗との一切の関わりを立ち、修行が続けられる。一度修行に入ると何があろうと途中でやめることは出来ない。比叡山延暦寺に伝わる荒行のひとつで、「静」の修行ともいわれる。

（注 2）好相行とは、浄土院の拝殿にて、仏様の姿を感得するまで、三千仏礼拝行（毎日『仏名経』に説かれている 3000 もの仏様の名前を一仏一仏唱えながら、香や花を献じ、そして五体投地という礼拝をする）を勤め続けるというもの。

（注 3）侍真僧とは、伝教大師最澄の真影に侍り、最澄上人が今も生きているかのように仕えることから、そのようにいわれ、僧侶達の敬意を集める。

- 修行体験 2 日目：10 月 9 日（日）午前 2 時～
回峰行体験 先達：光永圓道（みつなが・えんどう）先生
北嶺大行満大阿闍梨
延暦寺一山大乗院住職
比叡山無動寺明王堂輪番



昭和 50 年、東京都生まれ。平成 2 年、出家得度し、平成 9 年、花園大学文学部仏教学科卒業を経て、平成 11 年、回峰行（かいほうぎょう）初百日満行。平成 12 年、延暦寺一山大乗院住職拜命。平成 15 年、十二年籠山行、千日回峰行（注 1）入行。

その後、平成 19 年、回峰七百日満行。平成 20 年、比叡山無動寺明王堂輪番拜命。平成 21 年、戦後 13 人のみが満行している千日回峰行を満行し、京都御苑小御所への土足参内（どそくさんだい：注 2）を行い、現在は延暦寺一山大乗院住職および比叡山無動寺明王堂輪番を務めている。

著書：『千日回峰行を生きる』（春秋社）

（注 1）千日回峰行とは、平安時代から伝わる比叡山の峰々をぬうように巡り礼拝する修行のことで、無動寺を起点として 1 日で山を 1 周し、これを 1,000 周（計約 4 万キロ＝地球 1 周分）し終えることで満願とするもので、7 年という歳月をかけて行なわれる。断食断水、不眠不臥（が）で 9 日間、明王堂にこもり、不動真言（仏の徳を表す言葉）を 10 万回唱える「堂入り」や、京都市内に下り 1 日約 84 キロを歩く「京都大廻り」などの難行があり、比叡山延暦寺に伝わる荒行のひとつで、「動」の修行ともいわれる。

（注 2）回峰行の創始者・相応和尚（最澄の孫弟子）以来、千年の格式と伝統を誇る。由来は、文徳天皇の女御藤原の多賀幾子が物の怪に悩まされた時、京都市中の高僧たちの呪法も一向に効き目なく、師匠円仁のすすめにより、12 年籠山中の相応和尚が草鞋履の行者姿で参内し加持したところ、女御の病氣は直ちに平癒したといわれる。千日回峰行を満行した行者のみが許されるもので、京都御所内小御所に土足のまま参内し、国家安穏と玉体安穏を加持奉修する。